

シャープグループ DE & I 方針

DE & I 推進宣言

シャープグループは、一人ひとりの個性を原動力に、他社とは異なる視点で独自の価値を生み出してきた「シャープらしさ」を追求します。

一人ひとりが力を最大限発揮できる環境を整え、一人ひとりが生み出す価値を結集することで、当社ならではの革新技術の開発やサービスの提案を通じた会社の持続的な成長を目指します。

DE & I 推進目的

当社は、1973年に制定された経営理念の一節「会社に働く人々の能力開発と生活福祉の向上に努め、会社の発展と一人一人の幸せとの一致をはかる」に基づき、これまで女性活躍推進や育児・介護と仕事の両立支援、障がい者の雇用促進等を進めてきました。

創業100年を超え、従業員の属性やバックグラウンド、ライフスタイル、価値観がより多様化する中、当社ならではの独自の価値を生み出し続けるためには、人材確保に努め、「個」の力を引き出し、組織の力を高め続ける必要があります。これらを実現するため、当社はDiversity, Equity & Inclusionの推進に取り組みます。

DE & I の定義

ダイバーシティ (Diversity : 多様性)

国籍、人種、民族、性別、性的指向・性自認、年齢、世代、宗教、信条、障がいの有無、価値観、ライフスタイルなど、従業員一人ひとりの個性を尊重し、価値の源泉であると考えます。

エクイティ (Equity : 公正性)

多様な個性をもつ従業員一人ひとりが自分のもつ力をさらに伸ばし、職場で最大限発揮できるよう、公正な機会と必要な支援を提供します。

インクルージョン (Inclusion : 包括性)

従業員一人ひとりが仕事を通じた成長・幸せを実感できるよう、一人ひとりの存在と貢献を認め、結束します。多様な「個」の力を組織の力に変え、持続的な成長を目指します。

重点領域

1) 性別

一人でも多くの女性従業員がリーダー的ポジションから事業・組織運営に参画できるよう、公正な機会の提供と必要な支援に取り組みます。あらゆる職種・職場において、女性従業員のさらなる活躍を推進します。

2) 障がい

創業者 早川徳次の想い「何かを施す慈善より、障がい者自身で仕事をし、自助自立出来る環境を作る事が福祉に繋がる」を受け継ぎ、障がいのある従業員の成長機会の提供と必要な支援に取り組めます。

3) 多文化

さまざまなバックグラウンド（人種、民族、国籍、文化など）を持つ従業員の個性を尊重し、成長機会の提供と必要な支援に取り組めます。

4) 世代

世代を超えて一人ひとりの存在と貢献を認め合う職場づくりに取り組めます。

60歳以降も従業員が長年培ったスキルやノウハウを活かして働き続けられるよう、公正な機会の提供と必要な支援に取り組めます。

5) LGBTQ+

LGBTQ+への理解を社内に深く浸透させ、当事者が自分らしく安心して働くことが出来る職場づくりに取り組めます。

当方針の適用範囲

当方針は、当社の「経営理念」「シャープ行動規範」を補完するものとして、役員を含むシャープグループ全従業員に適用します。

期待される行動

シャープグループの事業に関わるすべての人には、当方針に定める内容に従って行動することが期待されます。特に経営層、マネージャーは自らの行動や関係者とのかかわりにおいて当方針を体現することが求められます。

制定日：2024年12月25日

代表取締役社長 兼 CEO
沖津 雅浩